

令和元年度自衛官候補生入隊（富士駐屯地）



集合写真



高橋候補生（右）と岩本曹長



神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、4月4日（土）同事務所から富士教導団特科教導隊（富士駐屯地）が担任する自衛官候補生教育隊に入隊した高橋凌平候補生（たかはしりょうへい）の入隊式に合わせ、担当広報官岩本曹長が激励した。

3月29日（日）の着隊から、わずか1週間と短い期間であったが元気滂刺とし、端正で制服の似合う候補生へと成長していた。

高橋候補生は、「これから、基礎をしっかりと学び自衛官、また一社会人として成長していきたい」と決意を熱く語ってくれるとともに、「課業外は同期と楽しく過ごしています」と営内生活についても充実した生活を送っていることを話してくれた。

担当広報官は、無事に入隊式を迎えた喜びと広報官業務の成果を感じる1日となった。

小田原地域事務所は、「今後も、入校・入隊者との繋がりを大事にするとともに、入校・入隊者と連携した募集広報活動にまい進していく」としている。

入隊式に参加できなかった家族に写真を届ける！



富士特科教導隊入隊式の様子



庁舎前での写真撮影



自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原1陸尉）は、4月4日（土）静岡県の上自衛隊富士駐屯地特科教導隊で行われた自衛官候補生入隊式を見学した。当初家族も参加する予定だったがそれが叶わなかったため、当事務所の担当広報官が入隊者のお祝いと現地での激励を兼ねて訪問した。着隊日の朝は寒く雪が降っていたが、入隊式当日は桜が咲き始め、春の暖かさが感じられる陽気だった。入隊式典では、とても1週間前に入隊したばかりの隊員とは思えない機敏な動作が印象的だった。広報官達は式典の様子や庁舎前で入隊者の初々しい敬礼姿などを写真に収め、最後にそれぞれに激励の言葉を掛けて富士駐屯地を後にした。

募集案内所に戻ってから所長の手紙を添えて写真を家族に届け、受け取った家族からは「参加できなくて残念でしたが、息子の凛々しい制服姿を写真で見られて感動しました」などの言葉をいただいた。

横浜中央募集案内所は、「このようなつなぎ広報を積極かつ継続的に実施し、家族からも信頼を得るなど、今後も募集広報活動に努力していきます」としている。